広報 にのみや

昭和48年8月　128号

発行所　二宮町役場　企画課
0463（72）1811（代表）
住　所　中郡二宮町二宮919番地
電　話　0463（71）0767（代表）

一緒に考えよう事態の現実を

衛生センターの必要性と相互理解

◇……みなさんの家庭からし尿を汲みとり、山間に投棄している非文明的な処……◇
◇……理方法をいつまでも続けて行くことはできません。豊かな住みよい環境……◇
◇……づくりを目指し、衛生環境の充実を図ろうと昭和四十年から今日まで、……◇
◇……たえずご理解とご協力を訴え続け、できる限りの努力を図ってまいりま……◇
◇……したが本年四月十六日、大磯町と二宮町とでつくっていた中南清掃組合……◇
◇……の解散が、余儀なくなったことは、すでにご承知のことと思います。……◇

――（広報にのみやでお知らせ）――

近代設備の福岡県古賀町衛生センター

（優秀な衛生センターを随時紹介して行きます）

深刻に考えてほしい

ひとりひとりの問題として

みなさんとの話し合い、そして町とみなさんとが一体となって、住みよい、明るい町づくりの推進を図ろうと、八年有余日もの年月を対話と参加に終始してきましたことは、みなさんの理解と協力が必要だったからです。

町のみなさん、新らしい事態の現実と非文明的な山間投棄の現実を冷静に考えていただき、みなさんひとり、ひとりの問題としてお互いに理解と協調を基盤に、問題解決への道を開かなければならないと思います。

すて場の現状を見て

現在すてている峯山の山間投棄場の実状はどうか。山と山との間に柵をたて土砂を積んで二重堰、三重堰をつくってそこへすてている水量があるかどうか調査させていただいていますが、地下水調査が終わりまして、結果がわかり次第みなさんに公表いたします。

そしてその資料を参考にみなさんと一緒に話し合い、民主的に事務を進めて行きたいと考えます。

調査の結果はみなさんに公表

みなさんと一緒に話し合い民主的に

的方法で、みなさんと一緒に選定へと進めて行きたいと思います。

町ではたえずみなさん（全町民）のしあわせを考え、より良い社会をつくろうと努力しています。

みなさん方も町や議会と一緒になって考えていただき、一体となって行きたいと思います。

すでに現在協議会（民間代表の方々）の協力をいただいています

私たちのものは私たちの手で

中南清掃組合の解散によって、新らしい事態となったことです。それは私たち（二宮町）のものだけを、わたしたちの手によって処理しなければならなくなったということです。

あなたも無関心でいられない

私の家は浄化そうだから汲みとりや処理など無関係だと思っている方はいないでしょうか。

浄化そうの種類にもよりますが通常環境衛生士、清掃は年二回程度を必要とします。そのために清掃能が十分はたせる場所、処理水の公害影響の少ないこと、処理に必要な水の量が得られること、

そこで、それらの接点を求め合うには、どうしたらよいでしょうか。それにはまず理解と協力をお願いし、お互いに話し合うことが一番

理論的にはだれもが認めると思います必要性が、いざとなると必要性や妥当性などとはちがった形で表わされがちです。

まず地下水調査に協力を

あたっては誠意をもってあたることだと思います。

町、議会、協議会では、収集運搬作業が経済的で、搬入路等が効率的であること、衛生センターの曲解される点などをすべて話し合うこと以外に、お互いの理解は得られません。また、話し合いにますが、ぜひとも協力が必要で段階です。

現在の段階は地下水量調査の結果を公表いたしますことをお願いします。

地盤の良好な場所であることを基礎概念として、候補地八カ所をさらに四カ所とさせていただき、地下水量調査をさせていただいて

一般汲みとり家庭の現実

昭和四十七年度中の汲みとり実績に、なると、一般汲みとり家庭から汲みとった量は、一年間八、〇四八キロリットルの量　みなりキす。

これだけの量を山間へ投棄したことになるわけですが、浄化そうの家庭でも、一般の汲みとり家庭でも、この実状を知っていただきこれからの対策や施策のなかに大いに理解を得たいと思います。

つと酒余がもてない事を痛感されると思います。

この現実をどなたが見ても、きわけで、不衛生な環境です。

がなお一層、みなさんひとりひとりの問題として、おしみない協力とご理解をお願いします。

短ことに汲みとる量は、一般汲みとり家庭の量より大量とならざるを得ません。

昭和四十七年度の実績推計では一年間に浄化そうの家庭から、一八〇〇キロリットルもの量が処理されたということになります。

これだけの量がやはり山間にすてられているということです。

こう説明しますと浄化そうの家庭だからといって、無感心でいられないことがわかると思います。

⊙広報はあなたと町の橋わたし⊙

力をあわせて
町を明るく美しく

もう少しで終る
公共用地の造成

昭和四十六年の六月に社会福祉センター及び庁舎の敷地が吾妻山の一部に決定し、四十七年の七月に造成の起工式が行なわれ、以後幾多の問題を解決しつつ、みなさんの参加も得て事故一件もなく、今日を迎えることができましたことは、ひとえにみなさん方のご協力の賜と思います。

公共用地の造成もご承知のとおりすでに周囲の擁壁（ようへき）取つけ道路、階段、防護柵等完了し、所定の造成が終ろうとしています。

しかし、造成完了後の安全を考え、現状の状態等を静に観察して、事後にうれいを残さないよう開発公社と町では最終検討の段階に入っています。

それらの最終検討のなかには、みなさんからの要望や懸念事項等を勘案して行なわれていますが、まず社会福祉センターの容姿がハッキリとした現在、その裏側の壁面の問題です。

現状の勾配は一番上の段が約三十三度の勾配で、その下の段の勾配は約六十三度の勾配となっています。

これをわかりやすく説明しますと、一番上の段の勾配は基点をゼロとして、一メートルあがったところで直角に一メートル五十センチ平行にいった点と立ちあがりの基点ゼロのところと交った線の勾配です。

その下の勾配も同じく基点をゼロとして一メートルあがったところで直角に五十センチ平行にいった点と立ちあがりの基点ゼロのところと交った線の勾配です。

これだけの勾配をとっていますがより一層の安全確保の主旨から検討が行なわれています。

つぎに公共用地の西北側（やや谷戸側にそった部分）の場所ですが、防護擁壁を行なってないため崩壊の危険性が懸念されますので、しかるべき対策をとる必要があることなどです。

以上の点を考慮し安全性を第一義として、現状計画を再検討中であり、その結論によっては、若干の補足工事を行なうようになるかと思いますが、いずれにしてもあと少しで吾妻山一部の公共用地の造成は終り、緑の復元に移る日もそこまできています。

ギラギラ照りつける太陽、吹く風も熱気をふくんでなま暖かい、夏は、どうしても開放的にならざるを得ないのが特徴です。

すべての人が暑さをさけ、涼を求めて海に山に、そして屋外へ、そこにはいろいろなことが青少年を待っています。

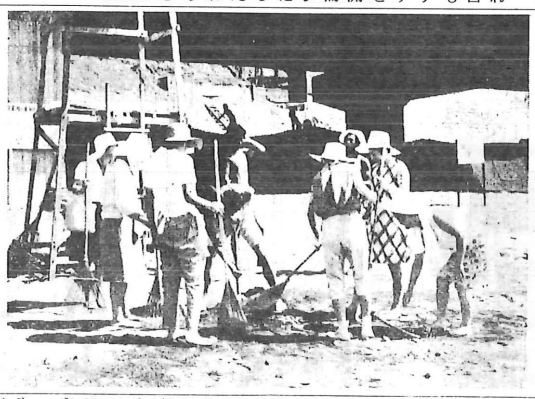
夏休みは学校生活から開放されて、家庭での教育が基調となり自主、自律を養なう絶好の機会でもありますが、これを一歩誤ります と非行の道へとそれてしまいます。

町と保護士会では七月を社会を明るくする運動の月間として展開しておりますが、二十七日には篤志家の協力を得て、キャンペーンマッチを作り、二宮駅の乗降客にくばったり全家庭に配布したりして、キャンペーンを展開しました。

また他方では海水浴客が訪ずれ海岸の清掃美化や地域環境衛生の向上をめざした、河川清掃などと心を合わせ、力を合わせて明るい町づくり、住みよい町づくりに協力をいただいています。

●協力団体名（順不同）

町婦人会支部
町老人クラブ五地区
天理教二宮分会
母親クラブ
青年団会青年部
ボーイスカウト
カブスカウト
梅沢婦会
フィシングクラブ
愛児園父母の会
茶屋こども会
酒川団こども会
ライオンズクラブ
二宮スポーツ少年団
釜野きやす会
袖が浦サーフキスティングクラブ



海岸清掃活動に協力していただいている方々

発想の転換を求めて
広報編集委員会が設置される

毎月五日、定期的にみなさんの家庭に配布されている広報にのみやの発行目的は、町行政に対する関心と理解を高めて、みなさんと行政との距離を身近かなものにして、地方自治体（二宮町）の質を高めようとする目的からですが、またその働きはみなさんと町とのコミュニケーションの広場であり町政に参加する広場としての役目も果しています。

こう考えますと広報のもつ意義や重要性が痛切に感じられますが、電波や文学のはんらんするなかで、広報だけはなにを置いても読んでいただきたいと苦心の編集公平な編集に努力して、広報の発行目的と意義を果そうとしています。

しかしながら全世帯に配布している広報の読者パーセントはどのくらいか。

町の目的は現実の姿として、一〇〇パーセントが読み、行政への理解と関心を得て、広報にのみやをとおして、みなさんが町の行政に参加している姿を実現しなければなりません。

そこで、本当に町とみなさんとが一体となり、より民主的な編集をもって情報の媒体を図ろうと、広報編集委員会が設置されました。

住民が委員となり住民がなにを求め、なにを欲しているかを察知していただきつつ、住民サイドに立った編集審議が行なわれるなどということは、画期的なものであり新しいケースかと思います。

二宮町広報編集委員会設綱の概要をお知らせし、みなさんのご理解と協力を得たいと思います。

◎目的

委員会は町広報、広聴の企画編集にあたって、民主的な運用と適正な資料をもとに、広報の発行をとおして町行政への理解と認識を深め、より効率的な情報の媒体を図ることを目的とする。

・町広報の編集、資料、広聴に関すること等。

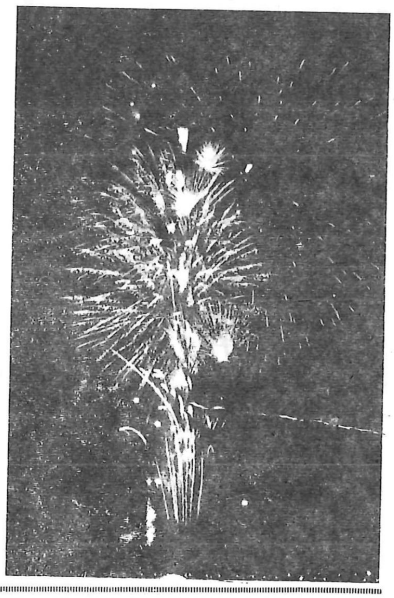
◎組織

町長が委嘱または任命する委員14名以内で組織する。

◎編集委員

	氏名	住所	年齢
会長	西山高德郎	山西一九四	46歳
副会長	国松善一郎	硯会長	46歳
百合が丘三丁目六一十八一一			
委員	橋川謙司	一色四三二	39歳
〃	中村美枝子	百合が丘一一十五	47歳
〃	高橋孝平	中里九八六	40歳
〃	松木弁太郎	二宮二三五四	41歳
〃	鈴木早子	二宮二三九三	38歳
〃	金子政次	二宮八四八	48歳
〃	田中正治	〃 三一七	38歳
〃	原　智子	〃 四七八	37歳
〃	遠藤タカ子	山西六五四	41歳
〃	西山敏夫	山西六一六	39歳
〃	脇　哲二	宮九一九	59歳
〃	西山寿弁	〃	36歳

湘南の夜空を飾った……
第1回海上花火大会



八月四日、二宮海岸で第一回海上花火大会が開催されました。

暑さが続く毎日あって、花火打上げの午後七時三十分には、家族づれやグループで海岸はイッパイ、それに身近なところで開催されるとあって気楽なものです。

まずドカン、ドカンとく寸玉に始まり、五発発五組の乱玉、ナイヤガラの滝の仕かけを含めて約一時くらい楽しませてくれました。

当初計画では町で初めてのことでもあり、開催実績をつくれば其の京基盤となって、年々充実したものになって行くだろうと、余り大がかりな事は期待しなかったのですが、開催内容はどうして、どうして二宮の海岸だけではなく、湘南の夜空をみごとに飾りました。

日頃、ご愛顧を願っている消費者、住民のみなさん方に、一年に一度くらいは盛観の雰囲気に燃え、商工業者三二五事業所が参画し、その他いろいろな団体等の協力等によりました。

関係者一同協力ありがとうございました。

住民のみなさん方も来年を期待し町産業の発展のためにみんなが手をとりあって行きたいものです。

町の動き

7月1日～7月31日

1日　社会を明るくする運動。

2日　納涼花火大会打合せ会を開催。

4日　社会福祉センター建設委員会を開催。

社会教育委員会、公民館運営審議会合同会議を開催。

6日　選挙管理委員会定例会を開催。

民生委員定例会を開催。

7日　衛生センター建設特別委員会を開催。

庁舎建設委員会を開催。

9日　町議会議員（衛生センター建設委員会委員を除く）が長野県佐久市のし尿処理施設を視察（～10日まで）

衛生センター建設特別委員会を開催。

10日　海岸美化団体清掃打合せ会を開催。

11日　衛生センター建設特別委員会を開催。

13日　身体障害者役員会を開催。

14日　衛生センター建設特別委員会を開催。

広報編集委員会を開催。

海岸清掃（下町第1・第2老人クラブ、越地・釜野婦人会）

17日　社会文教常任特別委員会、社会教育委員で、町立幼稚園設置について懇談協議をした

海岸清掃（上町婦人会し上町第1老人クラブ）

18日　交通指導班会議を開催。

海岸清掃（中里婦人会）

20日　経済観光常任委員会を開催。

納涼花火大会打合せ会を開催。

海岸清掃（下町婦人会）

21日　社会福祉センター庁舎敷地造成補償審査会を開催。

22日　海岸清掃（梅沢婦人会、フィシングクラブ）

23日　第3期県道改良特別委員会を開催

17日の会議、に引き続き幼稚園設置について懇談した。

海岸清掃等（母親クラブ、中町婦人会）

24日　海岸清掃（茶屋こども会）

26日　衛生センター建設特別委員会を開催。

納涼花火大会打合せ会を開催。

社会福祉センター庁舎敷地造成補償審査会を開催。

27日　農業委員会総会を開催。

28日　畜産経営推進対策協議会を開催。

防犯灯審議会を開催。

町民歌審査委員会を開催。

31日　中地区社会教育青少年教育担当者会議。

夏休み中の事故防止に
交通指導班が活躍

こどもの交通事故は家に帰ってから多く、登校、下校時での事故発生は比較的少ないのが現状です。

そこで、交通指導班では夏休み中の交通事故防止を目的に、休みに入る前の七月二宮小学校の児童を対象に、教育用信号機を街頭に設置して、交通指導教室を開催いたしました。

これは現実の交通環境のもとで実際に行なうほうがより効果的であり、適切な指導が行なえることからこの新らしい試みで行なったわけです。

一色小学校については、八月八日に実施する計画ですが、いづれの指導内容も信号機の見方、横断歩道の渡り方、正しい歩行、左右の確認の習慣づけなどを主に交通規則チェックカードを設けて正しく守っている児童に、このチェックカードを渡して児童の自意識の徹底を図り、ともすれば学校生活から開放され、ゆるみがちとなる休み中の交通事故防止を推進しようとするものです。

チェックカードの扱いについて

指導班の当面の活動計画としては夏休みの期間中ですが、それ以後については、実施結果を検討し、続けて行きたいと思っています。

指導班には、町企画課、交通安全対策室）指導班、二宮小指導班（P・T・A校外補導員）、一色小指導班（P・T・A校外補導員）の三班からなり、交通安全協会、交通指導員、校外担当教師、大磯警察署員が加わって編成されています。

これらの各班が指導日にしたがって街頭へ進出し、右側を歩いているか、路側帯や歩道のあるところは整列に歩いているか、横断歩道や歩道橋を正しく利用しているか横断するときや細い路地から出る時の左右の確認、信号を守っているかなどをチェックし、その時々にどれかを正しく行なっている児童にチェックカードを渡し、優秀な児童を表彰しようとするものです。

チェックカードを渡す者は、お父さんなりお母さんですので児童と一緒に親も交通安全意識を高めることができ、一層の効率化が図られるというわけです。

毎日、正しい交通を行なっている児童は、このチェックカードが何枚にもなりますが、渡されたチェックカードは全部保存しておいてください。

二宮むかしといま

▼…海の幸のはなし…▲

二宮の町は海沿いであり、昔から漁業も活発に行なわれていました。漁業にはいろいろの種類の漁獲法がありますが、二宮の海で行なわれた方法は地引き網、あぐり網、大ぼう網などの網によって魚類を採る方法が多くありました。

地引き網はいまは一部の観光の一環として行なっていることが多いが、筆者のこどもの頃はたくさんの網元があってそれぞれ漁区を守ってとったものです。地引き網は引きあげ手がたくさんいるので、専門の漁夫以外にしろうとやこどもたちまで動員して手伝わせ、とれた魚を少しづつ分けてくれたものです。引きあげた網の中にはシラスやいわしが入ることが多かったが、時にはさばやあじなども入ったこともありました。

あぐり網は船が海の沖合を西に東にこぎまわりながら、魚の群を見つけると網を投げかけて捕る方法です。魚の群はときどき方向を変えるので、行く先をさえぎるように網を投げて水の底からすくいあげるが、その時にすき間から魚が逃げないように石を投げたり、おどかしというおもりを投げ込んだりしたものです。あぐり網の時期は夏から秋にかけてで、捕る魚はめじやかつおおもで、時には一網で三千尾ものかつおをあげたこともありました。そんな時、沖の方から大漁旗を飾えながらの帰ってくる漁夫たちの顔は、よろこびと輝やいていました。

それにしましてこの海の幸の圧巻ともいうべきものは、冬に張り立てられるぶりの大ぼう網です。それは沖合はるかに張った定置網を千数せきの船に乗った漁夫たちが、毎朝夕にヨイショ、ヨイショのかけ声も勇ましくしめて魚をとる漁獲法です。たまたまこの網に数千、数万のぶりの大軍がかかった時の光景は、実に壮観ということでした網底に追いつめられてピチピチはねまわるぶりを、手にした手かぎで一尾づつ船にくり込む漁夫の顔は揚々と輝やいて、さながら戦いに勝った勇士の顔にもにていました。そして大漁旗を立てた船で陸に運ばれたぶりはみるみる砂浜に山と積まれて、実に壮観とのことです。筆者自身も小学生の頃に一網で二万有余のぶりが、何回となくとれたことを覚えています。その時のぶり一尾の値段はたしか五十銭でした。そんなたくさんとれると利益も多かったので、網元は関係した人々に真祝酒といって、ぶりの泳いでいる模様のついた晴れ着を着せて大山の阿夫利神社へ大漁のお礼まいりを行なったものでした。

このように二宮町の海岸は、昔はずいぶんと海の幸にめぐまれたところであったが、現在はいろいろの関係で昔ほどの盛でないのも時勢の流れなのでしょうか。

教育用信号機を
―鈴木平八郎氏等が寄贈

小・中学校での交通教室、保育園幼稚園での交通教室を開催するには、どうしても教育用の模擬信号機が必要ですが、以前からあった信号機が永年使用していました関係から、こわれてしまい修繕するにも部品がなく大変こまっていましたところ、二宮町二宮二二四番地鈴木平八郎氏等が児童、幼児、お年寄の方々に正しい交通ルールを、このたび信号機を寄贈していただきました。

早速、七月二十日の街頭指導に活用させていただきましたが、今後もどしどし活用させていただき交通事故防止に役立てて行きたいと考えています。

★窓口案内★（2）
出生届は14日以内に

届出にはいろいろなものがありますが、最初に出生届についてご紹介しましょう。

◎届出先と届出期間

本籍地、住所地、出生地のいづれでも、生まれてから十四日以内に市町村長に届出てください。

◎届出用紙

病院または各市町村役場にあります。

出生証明らんで、出産に立合ったことの記入印が必要です◎届出に必要なもの

一、出生証明書
二、母子手帳
三、国民健康保険証
四、米穀通帳
五、印　鑑

◎出生届の枚数

▽届出先が本籍地と同じとき…二通

▽届出先が本籍地でないとき…二通

◎命名について

名前は当用漢字、人名用漢字等を使用することに限られています

◎なお出生しますと、町から国民健康保険に入っている方は、一万円の助産費が受けられます。また三人目のこどもには、児童手当があります。

保健衛生だより

健康で豊かな楽しい暮らしを

三種混合

◎対象　昭47・7・1～12・31までに生まれたこども。また第一期完了後一年以上たっているこども

◎とき・ところ

▽10日　保健ステーション

▽14日　公民館

◎時間　13・30～14・50

3カ月児健診

（一色・百合が丘を除く地区）

◎対象　昭48・3・1～4・30までに生まれたこども。

▽13日　公民館

◎時間　13・30～14・50

（一色・百合が丘地区）

◎対象　昭48・4・1～30までに生まれたこども。

◎とき・ところ

▽27日　保健ステーション

◎時間　13・30～14・30

母親教室

◎とき・ところ

▽9月3日、4日、5日、7日の4日間　公民館

◎時間　13・30～15・30

◎講義内容

妊娠の生理、赤ちゃんの衣類、分べんの準備、分べんと産じゅく

妊娠中の歯科衛生、妊娠中の衛生

妊娠中の栄養、赤ちゃんの育て方

新生児の取り扱い方。

◎対象者には個人通知が行きます当日は母子手帳と筆記用具をお持ちください。

保健衛生相談

◎とき・ところ・時間

▽15日　公民館　10～15

◎相談内容　乳幼児、老人の健康相談、精神、環境衛生相談、その他保健衛生全般の相談、

◎保健所、役場職員が相談に応じます。

成人病健診（胃ガン）

◎対象　40歳以上の方。40歳以下の方でも希望があれば受付。申込は電話で役場保健衛生係です。申込み者は二二〇人でしめきります申込み者には通知します。

清掃事務所に電話
（七二一二三〇）

清掃事務所に電話が入りましたので、次の時間にご利用ください

他の時間は作業に出ておりますので、よろしくご協力ください。

7・30～8、12～13、16～16・30

●清掃業務について

8月15日は、一斉休業いたしますので、ご協力ください。

各種援護のお知らせ
（保健所関係）

平塚保健所では次のような各種の援護をしていますが、今年の四月から一部変更がありました。くわしくは平塚保健所（平塚市豊原町六一二一、電〇四六三㉜〇一三〇）、役場保健衛生課衛生係までお問い合わせください。

◎援護の種類

保健指導票の利用、牛乳の無料支給、衛生器具または薬品の無料支給等、妊娠中毒症等の療養援護未熟児の養育医療援護、交換輸血入院援護、先天性代謝異常児の医療援護、身体障害児の育成医療援護、結核児童の療育医療援護、小児がん医療援助、特定疾患医療援助、小児長期疾患医療援護

園芸メモ

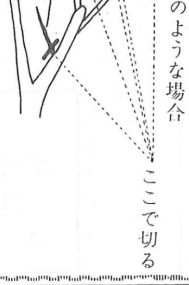
八月にもっとも注意しなくてはならないのは、はち物の水やりでしょう。水やりの時間はできるだけ午前中早い方がよく、はちの底から水が出るまで、たっぷりやることが大切です。十分にやったつもりでも、はちと土のすき間を伝わって水が逃げることがありますので、数が多くなければ、一週間に一回位はちごとに水をつけて、はちの内部のすみずみまで、水を行きわたらせることも必要です。水をかける時一回さっと水をかけ、その水がなくなったところで、たっぷり水をかけるなど、いろいろと工夫のいるところです。

また夕方しおれるようなら、もう一回やる必要があります。室内にあるはち物には、二日に一回位やれば十分です。

今月の下旬はバラの夏期せん定の時期です。この時期にせん定をすると、ほとんどのバラは十月の気候のよい時期に美しい花をつけてくれます。まず病気で枯れた枝や、株の内側を向いた弱い枝は全部切りとります。

次に外の方を向いた力強い休眠芽の真上で切ります。冬のせつ定とちがい、あまり深く切らず、大体株の高さの上三分の一位を切るようにします。図を参考にしてください。せん定が終われば地上部に落ちた枯れ葉とともに焼却します。

ツバキのはち植え、ラン、梅シャコバサボテンなどのはち物は、八月に入ってから比較的直射日光の当らないところで、かん水を控えてかわかし気味にすると、冬の花芽がよくつく傾向があります。しかしあまり水を切ると枯れる恐れがありますので、むしろ水をやりすぎないよう注意をするくらいにした方が無難でしょう。



○不用犬の収集　とき8月15日（水）

場所	時間
中町公会堂	11:45～11:55
下町老人いこいの家	13:10～13:20
茶屋〃	13:30～13:40
百妻神社前前堂館	13:50～14:00
町役場会室	14:10～14:20
二宮公児童館	14:25～14:35
元町里	14:40～14:50
保健ステーション	14:55～15:05

住民の声　住民の声　住民の声　住民の声

遊び場・公園等について

こどもたちは夏休みの毎日を、海や山へのびのびと遊び、また家庭での勉強などと過しています。今の季節ならば夕涼みに、また散歩にと休める場所やいこいの場所やそして広場など必要となっいます。

町でも公園、遊び場の設置については、新らしく造成する地域はついては、それらの設置を指導していますし、既存の住宅街等についてもいろいろな形で、設置計画を進めています。そこで今月は遊び場、公園等について意見・要望を聞いてみました。

二宮町二宮一一〇番地　萩原ヒロ子（40歳）

私の家ではこどもが大きくなっていますが、小さい頃は遊ぶ所があればよいと思い、だれか土地を提供してくれる方がいないかと思いました。二宮にはあまり遊ぶ所が少なく、他の市町を見ると必ず大きな公園が一つか二つはあります。遊ぶ所は住民として、母親としてぜひほしいと思います。その場合広くなってもよいから、各所へつくってもらいたいと思います。遊ぶ施設は、今の保育園等を参考に、お金のあまりかからなくてこどもに合ったものを選んでつくればよいのではないでしょうか。みんなのいこいの場所というような公園等をぜひつくってもらいたい。また場所的には、山間の公園をつくってもらいたい。

二宮町百合が丘一一五一六番地　小林孝子（36歳）

近くの公園には階段がありますが、その階段を自転車で降りて行きゲガをしたこどもがありますので、みんなで注意した防止することを考えてもらいたい。

ここの公園だけではないと思いますが、こどもが野球や砂遊びなどをやっている中でゴルフの練習をやっている方がいますが、絶対にやめてもらいたいと思います。

公園のは定期的に草などを刈ってくれますし、よく整備されていると思います。

最近自転車がこのように盛んになってきますと、自転車による事故も増加しますので、町でも散歩道と自転車道といっしょになったものをつくっていただきたいと思います。

二宮町二宮一三三番地　原　昭一（30歳）

町の中、商店街等にも公園をつくることは大切ですが、他に優先するものがあるのではないでしょうか。町の中にも現在空地がありますが、それを利用して遊び場を短期間でもつくったらどうでしょう。今のこどもは私達の時と違って、遊ぶ環境、遊び方が違いますので、遊ぶものはこどもが喜び利用するものがよいと思う。また遊ぶ所は手近にあり、毎日こども同志で安全に楽しめる所がほしい。河川、山間等の清掃、整備をして自然を活用した、都会とは違った二宮は二宮らしい遊びができるようにしたらどうでしょうか。

園試験場内を一部開放してもらい、作業等のじゃまにならないように、こどもの勉強と遊びをいっしょにしたようなことができるのでもっと活用したらどうか。

二宮町山西一二一四番地　安西兼夫（51歳）

遊園地をつくるのには、第一の問題として土地の問題だと思います。農業をやっている方などで、土地を貸していただける方などがいないものでしょうか。また草ぼうぼうになっている所などを見ますが、そのような土地を貸りて公園をつくったらよいのではないでしょうか。つくる場所は、こどもが交通の激しい所を通って行ったりする場所よりも、より安全な所へつくってほしい。

町の将来は、都市化しつつあると思いますので、その中で緑を取り入れた町民全体の遊び場、大規模な公園をつくることが大切で策路等をつくって、お互いに行き来ができるような町づくりを望みます。

二宮町中里九五一六番地　村杉恵美子（42歳）

小さなこどもがいる家庭ではわかませんが、近所の環境は交通上の危険があまり少ないことと、家のこどもが大きくなっているので、遊ぶ所はさし迫ってとくに必要ではないと思います。

他市町には公園がありますが、二宮にも公園があれば大変よいことではないでしょうか。そこでいこいの場所というような公園をぜひつくってもらいたい。

町の中でもまだ遊び場等が必要な所があると思います。遊園地をつくる場合には、遊園施設等もおとなの考えだけでなく、こどもの意見を取り入れた形の施設づくりをしていただきたいと思います。

住民の声にお答え

夏休みに入り、こども達にとっては一番楽しい時かと思います。

でもお母さん方にとっては家庭での教育、しつけなどこどもの世話にかと大変かと思います。

○各所にこどもの遊び場設置について…遊び場の設置は各所への方針ですが、現実の問題としては土地の取得がなかなかむずかしさがあり、思うように行かないのが実状です。

現在、宅地造成や区画整理が行なわれている場所等には、町の開発要綱にしたがって、それらの提供を促進し、また河川敷や官有地などの確保を推進し、遊び場の増設を図っています。

○遊び場の施設を設置する場合はこどもの意向によって…おとなの感覚だけで施設するのではなく、こどもの意向をくみとってのご意見はまったくそのとおりで町としてもすでに二宮小学校の児童を対象になにがほしいかを調査いたしました。

その調査資料等を参考に施設整備を行なって行く方針ですが、補助事業等の場合は施設基準が決まっています。施設基準とこどもの意向をとり入れつつ施設整備を行なっているのが実状です。

○遊園地内でのゴルフの練習について…これはおとなの常識でありモラルであると思います。

小さなこどもなどが遊んでいるところなどでは、ゴルフの練習はやらないようにしたいものです。

○町民のいこいの広場（公園）の建設を…現在町には公園はなく、みなさんの要望や町の形態などから必要かと思います。

町総合計画上では、吾妻山レクリエーション園地が計画されて、散策路等もおり込まれた自然環境との融和を図った施設内容です。

必要順位にしたがって、町機能の整備は計画しなければならないと考えています。

○県園芸試験場の利用について…現在、園芸作物の勉強や、こどもの社会科などの勉強には多くの方が利用され、場内には自由にご入場ください。

との看板も掲げされていますので、散策をかねた場内見学など大変よろしいかと思います。

広報コーナー

アフリカの干ばつに救援金を

新聞などでご存じのように、現在アフリカのサハラ地区では大規模な干ばつにおそわれ、少なくとも六百万人の人々が飢餓にひんしているとのことです。日本赤十字社では、これらの人々を救うために、全国的に救援金の受付をしています。町でも受付をしていますので、被災地域の状況を理解していただきご協力くださるようにお願いします。

○受付期間　8月31日まで

○受付窓口　町役場住民課内日赤二宮町分区事務局。

町の人口

（7月1日現在）

総人口	23,590	人
男	11,665	
女	11,925	
有権者数	14,832	
世帯数	6,267	
面積	8.96km²	
人口密度	2,633	

相談

★心配ごと相談

▽6日　10～12　公民館

▽15日　10～15

★行政相談

▽15日　10～15　公民館

★農業相談

▽9月2日（日）　10～16　県園芸試験場講堂「秋まき草花の作り方」

◎なお当日相談においでの方に、少量ですが「ナシ」を有償で配付いたします。

祭・スポーツ

◎盆おどり大会

◎とき・ところ・時間

▽7日（金）　二宮小校庭　午後7時から

第22回町少年部落対抗野球大会

◎とき・ところ

▽18～19日　二宮中学校々庭

暮らしの一日教室

県平塚消費生活センター（梅屋デパート内）で開いています。

◎今月のテーマ

「蕎麦考」（演方薬のはなし）

▽とき　毎週金曜日　13・30～15・30（午前の部あり）

▷ところ　当センター実習室

▽申込み　電話、はがきで参加希望の日をご連絡ください。受講料は無料。40人程度（先着順）当日参加もできます。

▽講師　消費生活コンサルタントまたは各界の専門講師。

▽場所　平塚市紅谷町五一二〇（〒二五四）

▽電話　○四六三㊀四〇九二

●暮らしの教養講座も開催しています。

▽今回「食品と健康コース」を9月4日～10月9日まで毎週火曜日13・30～15・30当センター実習室で行ないます

▽申込みその他は「暮らしの一日教室」と同じです。

話題のスポット

蚊が少なくなった

カやハエが発生する時期は五月頃で、その時期をねらって発生しそうな場所の清掃と駆除を行ないますと大変効果があります。

時期ともなりますと地区区長さんや衛生委員の人達の指導のもとに隣近所、地域の人達同志が家のまわりや地域内の清掃と駆除を行なっていますが、その効果はどこの地域にもあると思いますが、特に力がいなくなったと地域の人達が喜んでいます

小さな川があり、水溜りなどの多い釜野地域では、地域の人達が毎年清掃と駆除を行なってきましたが、一匹でも多くカやハエをなくすべく出すことができたことを喜んでいるものかと本年度は地域の人達が総出で、徹底的な清掃と徹底的な薬剤散布を行なった結果、その効果はカが発生するいま、ハッキリと立証されたといわれます。

すみからすみまでの清掃と駆除カの発生を防ぎ、寝苦しい夜などカの防害も受けずに、豊かな環境をみんなの力でつくりたいものかと思います。

町職員を募集

▼職種

一般事務職員　25歳までの男女　若干名・給食作業員　50歳までの女　若干名・用務員　夫婦で住込み可能な方

▼資格

事務職のみ学校教育法による高等学校卒業以上の方。ただし給食作業員は学歴を問いません。

▼待遇

給与は町給与条例により支給（賞与三回その他各種手当と社会保障あり）

▼手続

履歴書（写真貼付）をお持ちください。（郵送でも可）

▼受付しめきり

昭和48年8月31日まで

▼その他くわしいことは、二宮町役場（℡(71)〇七六七）総務課までお問い合わせください。

職業訓練生を募集

県では昭和四八年度の後期の訓練生を募集しています。

応募資格、入校手続等については、お近くの職業訓練校または公共職業安定所へ問い合わせてください。

8月の行事（公民館）

◇6日　民生委員定例会　13～17

◇7日　婦人会定部長会　13～17

◇8日　青年会　19～22

◇9日　卓球クラブ　9～12

◇10日　日赤奉仕団　13～17、法令講習会

◇11日　卓球クラブ　13～17、婦人会読書会

◇14日　青年会　19～22

◇16日　卓球クラブ

◇17日　レク協会

◇19日　中部PTA総会

◇20日　日赤奉仕団　13～17、青年教室　19～22

◇22日　フジコーラス　17・30～20

◇24日　婦人会手芸部　13～17

◇25日　卓球クラブ　13～17

◇30日　湘南地区卓球大会　13～17

◇31日　レク協会　19～22

教育関係にと寄付

二宮町二宮二六四番地、渡辺善太郎氏は、このほど叙勲されたのを機会に、町の教育関係のためにと町へ五十万円の寄付がありました。このあたたかいご好意に対して、深く感謝の意を表わし厚くお礼申しあげます。

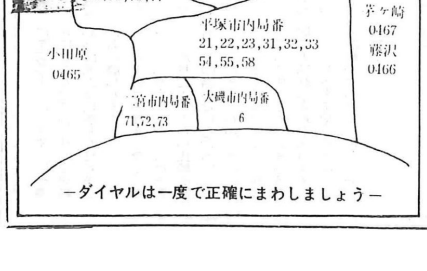
★お知らせ★

町営袖が浦・百合か丘プールは8月29日（水）で閉鎖させていただきます。

≪今月の納税≫

町県民税
国民健康保険税
第2期分
—8月31日まで—

二宮から平塚・大磯・秦野・伊勢原へ電話をかけるときは、市外局番「0463」をお忘れなく!!



—ダイヤルは一度で正確にまわしましょう—